

## 平成5年度作況一覽

秋播小麦	大豆	小豆	菜豆	ばれいしょ	てんさい
不良	やや不良	良	不良	不良	やや良

### I. 気象概況

平成4年9月から平成5年10月までの概況は次のとおりである。

平成4年9月：

平均気温はやや低かった。降水量は上・下旬が多かった。日照時間は上旬がやや少なかったほかは、平年並であった。

10月：

平均気温は下旬が高かったほかは平年並であった。降水量は中旬が少なかったほかはほぼ平年並であった。日照時間はほぼ平年並であった。初霜は10月22日で平年より6日遅かった。

11月：

平均気温は上旬がやや低く、中旬がやや高かった。降水量は平年並で、日照時間は下旬がやや少なかったほかは平年並であった。

12月：

平均気温は上旬がやや高かったほかは平年並であった。降水量は上旬がやや多かったほかは平年並であった。日照時間は上・中旬がやや少なかった。根雪始は12月12日で平年より7日遅かった。

平成5年1月：

平均気温は上旬がやや高く、下旬がかなり高かった。降水量は下旬が多かったほかは平年並であった。日照時間は少なかった。

2月：

平均気温は上旬がかなり高かったほかはほぼ平年並であった。降水量は中旬が多かったほかは平年並であった。日照時間は上・下旬がやや少なく、中旬が少なかった。

3月：

平均気温は上・下旬が高かった。降水量は下旬が少なかった。日照時間はほぼ平年並であった。

4月：

平均気温は下旬がやや低かったほかは平年並であった。降水量、日照時間はほぼ平年並であった。根雪終は平年並の4月5日で、積雪期間は115日で平年より7日短かった。また、耕鋤始は平年並の4月23日であった。

5月：

平均気温は平年並であった。降水量は上・下旬が多く、中旬が少なかった。日照時間は上・下旬が少なく、中旬が平年並であった。なお、晩霜は5月15日で平年より10日遅かった。

6月：

平均気温は上旬が平年並、中旬がやや高く、下旬がかなり低かった。降水量は上旬が少なく、中・下旬が多かった。日照時間は平年の約4割とかなり少なかった。

7月：

平均気温は下旬が平年より2.9℃低かったほかは平年並であった。降水量は中旬が平年並であったほかは少なかった。日照時間は、上旬が多く、中・下旬は少なかった。

8月：

平均気温は上・中旬がそれぞれ平年より4.0℃、1.8℃低く、下旬が平年並であった。降水量は上・下旬が少なく、中旬がやや多かった。日照時間は中旬が少なかったほかは平年並であった。

9月：

平均気温は上旬が低く、中・下旬がやや高かった。降水量は上旬が少なかったほかは平年並であった。日照時間は全般にやや少なかった。

10月：

平均気温は上・中旬が平年並、下旬がかなり高かった。降水量は上・中旬が少なく、下旬が多かった。日照時間は中旬が平年並、上・下旬がやや少なかった。なお、初霜は平年より10日遅い10月28日であった。

以上、農耕期間(4月～10月)の気象を要約すると、気温は、積算平均気温が2984℃で平年より57℃低く、特に、6月下旬、7月下旬～8月中旬および9月上旬が低かった。降水量は547mmで平年より39mm少なかった。日照時間は980時間で平年より311時間少なく(平年比76%)、特に、5月下旬～6月下旬、7月下旬および8月中旬が少なかった。

### 季節表

年次	根雪始 (4年.月.日)	根雪終 (月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月.日)	耕鋤始 (月.日)	晩霜 (月.日)	初霜 (月.日)	無霜期間 (日)	降雪始 (月.日)
本年	12.12	4.5	115	4.25	4.23	5.15	10.28	165	11.6
平年	12.5	4.5	122	4.17	4.23	5.5	10.18	165	10.31
比較	7	0	△7	8	0	10	10	0	6

注) 平年値は過去10年間の平均。△は減を示す。

農耕期間の積算値

項目 期間		平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (hr)
4～ 10月	本年	2,984	4,146	1,811	547	980
	平年	3,041	4,096	1,981	586	1,291
	比較	△57	50	△170	△39	△311
5～ 9月	本年	2,509	3,321	1,689	341	682
	平年	2,572	3,311	1,830	422	943
	比較	△63	10	△141	△81	△261

注) 平年値は過去10年間の平均。△は減を示す。

II. 平成5年度の作況

1. 秋播小麦 平成5年度の作況: 不良

事由: 播種は平年より3日遅い9月15日に行った。秋期の天候は不順であったため湿害をうけ、生育は劣った。積雪期間はやや短く、雪腐褐色小粒菌核病および紅色雪腐病の被害は少なかったが、滞水箇所にて褐色雪腐病が発生した。起生後は概して低温・寡照気味に推移したため生育は遅れ、出穂期は平年より8日遅かった。6月上旬の干ばつにより茎数が減少し、穂数はかなり少なかった。出穂後も低温・寡照であったため、登熟期間は延長したが、千粒重の増加はみられなかった。子実重は中生の2品種は95%程度であったが、早生品種は子実重歩合が平年より低かったため、平年比75%と著しく低収であった。なお、食検等級は良好であった。以上により、平成5年度の作況は不良である。

品種名 項目/年次	ホロシリコムギ			タクネコムギ			チホクコムギ			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(平4.月.日)	9.15	9.12	3	9.15	9.12	3	9.15	9.12	3	
出芽期(平4.月.日)	9.24	9.19	5	9.24	9.19	5	9.24	9.19	5	
出穂期(月.日)	6.16	6.8	8	6.8	5.31	8	6.16	6.8	8	
成熟期(月.日)	8.3	7.21	13	7.24	7.12	12	8.2	7.2	13	
草丈 (cm)	平4.10月20日	13	23	△10	14	22	△8	14	24	△10
	5月20日	30	50	△20	32	50	△18	30	46	△16
	6月20日	91	101	△10	100	101	△1	82	92	△10
茎数 (本/㎡)	平4.10月20日	545	1233	△688	621	1308	△687	646	1353	△707
	5月20日	1152	988	164	1120	1098	22	1065	1021	44
	6月20日	466	584	△118	638	715	△77	591	648	△57
成熟期に おける	稈長(cm)	93	96	△3	90	92	△2	79	86	△7
	穂長(cm)	8.4	8.4	0	7.1	7.6	△0.5	6.7	7.0	△0.3
	穂数(本/㎡)	340	527	△187	532	683	△151	484	586	△102
子実重(kg/10a)	460	490	△30	314	416	△102	455	477	△22	
リットル重(g)	767	753	14	769	798	△29	742	736	6	
千粒重(g)	45.5	45.6	△0.1	37.0	39.7	△2.7	39.6	39.6	0.0	
品質(等級)	1	1	—	1	2上	—	1	2上	—	
子実重平年対比(%)	94	100	△6	75	100	△25	95	100	△5	

注) 平年値は前7か年中、昭和61年、昭和62年(各収穫年度)を除く5か年平均。

ただし、「チホクコムギ」の10月の草丈は平成元年～4年、5月および6月の草丈および茎数は昭和63年、平成元年、3年、4年の4か年平均。

## 2. 大豆 平成5年度の作況: やや不良

事由: 播種期は5月17日で、平年より2日早かった。播種後適度な降雨に恵まれたため、出芽期は平年並で、出芽揃いも良好であった。出芽後、6月下旬は低温少照で、7月上旬は平年並であったが中旬より再び低温少照となったため、生育が遅延し、開花期は平年より「ユウヒメ」では6日、「ユウヅル」では1日遅れた。開花後、8月上・中旬は低温少照の日が続き、生育は更に遅れた。しかし、9月中旬より気温は高めに経過したため、生育はかなり回復し、成熟期は「ユウヒメ」は平年より1日遅く、一方「ユウヅル」は平年より10日遅かった。成熟期の主茎長は平年より長く、主茎節数、分枝数はほぼ平年並であった。収量構成要素は、「ユウヒメ」では着莢数がほぼ平年並で、一莢内粒数、百粒重は平年より減少した。一方、「ユウヅル」は着莢数は平年より多く、百粒重は平年を下回った。この結果、子実重は「ユウヒメ」が289kg/10aで平年対比は88%、「ユウヅル」が327kg/10aで平年対比は107%と平年を上回り、2品種平均の平年対比は97%であった。なお品質(検査等級)は「ユウヒメ」「ユウヅル」とともにほぼ平年並であった。

以上により、平成5年度の作況はやや不良である。

品種名 項目/年次	ユウヒメ			ユウヅル			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月.日)	5.17	5.19	△2	5.17	5.19	△2	
出芽期(月.日)	6.9	6.7	2	6.6	6.7	△1	
開花期(月.日)	7.28	7.22	6	7.31	7.3	1	
成熟期(月.日)	10.7	10.6	1	10.25	10.15	10	
主茎長 (cm)	6月20日	8.8	8.7	0.1	6.3	7.7	△1.4
	7月20日	29.9	32.2	△2.3	25.4	28.1	△2.7
	8月20日	61.2	48.7	12.5	61.4	65.0	△3.6
	9月20日	56.8	49.2	7.6	67.4	64.5	2.9
	成熟期	56.0	49.6	6.4	67.3	63.5	3.8
主茎節数 (節)	6月20日	0.3	0.7	△0.4	0.4	0.7	△0.3
	7月20日	5.4	6.5	△1.1	5.8	6.4	△0.6
	8月20日	13.3	12.2	1.1	15.2	15.1	0.1
	9月20日	13.0	12.5	0.5	14.8	15.3	△0.5
	成熟期	12.1	12.6	△0.5	15.9	14.6	1.3
分枝数 (本/株)	7月20日	1.0	3.8	△2.8	0.3	2.1	△1.8
	8月20日	8.7	6.3	2.4	3.7	5.6	△1.9
	9月20日	5.7	6.2	△0.5	4.4	5.4	△1.0
	成熟期	6.8	6.5	0.3	4.5	5.2	△0.7
着莢数 (莢/株)	9月20日	58.3	64.2	△5.9	53.9	66.4	△12.5
	成熟期	60.5	60.3	0.2	68.9	63.8	5.1
一莢内粒数(粒)	1.78	1.96	△0.18	1.78	1.80	△0.02	
子実重(kg/10a)	289	330	△41	327	305	22	
百粒重(g)	39.5	43.0	△3.5	40.1	41.7	△1.6	
虫喰率(%)	0.1	0.4	△0.3	0.1	0.5	△0.4	
品質(等級)	3上	3上	—	2下	3上	—	
子実重平年対比(%)	88	100	△12	107	100	7	

注) 平年値は前7か年中、昭和62年、63年を除く5か年平均。6月および7月の主茎節数は本葉数。

### 3. 小豆 平成5年度の作況:良

事由:播種は平年より1日遅い5月21日に行った。播種後、適度な水分があり、出芽まで日数は平年並で、出芽期は平年より1日遅い6月10日であった。出芽後、6～7月は7月上旬を除いて寡照で、不順な天候であったため、初期の生育は緩慢で、開花期は平年より2日遅い7月29日であった。開花後、8月上・中旬が低温であったため、生育は遅れたが、8月下旬以降比較的好天に恵まれたため、後半に開花、着莢した莢の肥大が良好で、着莢数は平年を大きく上回った。成熟期は9月18日で、平年より9日遅く、登熟期間が長くなったため、粒の肥大は良好で、一莢内粒数は平年並で、百粒重は平年を約10%上回った。このため子実重は297kg/10aで、平年比128%であった。品質は平年並であった。

以上により、平成5年度の作況は良である。

品種名 項目/年次		エリモショウズ		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.21	5.20	1
出芽期(月.日)		6.1	6.9	1
開花期(月.日)		7.29	7.27	2
成熟期(月.日)		9.18	9.9	9
主茎長 (cm)	6月20日	4.4	3.7	0.7
	7月20日	13.6	13.9	△0.3
	8月20日	36.9	34.4	2.5
	成熟期	38.2	35.6	2.6
主茎節数 (節)	8月20日	10.6	11.1	△0.5
	成熟期	10.2	11.0	△0.8
分枝数 (本/株)	7月20日	2.2	1.5	0.7
	8月20日	3.6	2.7	0.9
	成熟期	3.4	2.2	1.2
着莢数 (莢/株)	8月20日	27.0	29.2	△2.2
	成熟期	47.4	38.3	9.1
一莢内粒数(粒)		6.57	6.65	△0.08
子実重(kg/10a)		297	232	65
百粒重(g)		13.4	12.2	1.2
層粒率(%)		2.5	1.5	1
品質(等級)		2中	2中	—
子実重平年対比(%)		128	100	28

注)平年値は前7か年中、平成元年、3年を除く5か年平均。

### 4. 菜豆 平成5年度の作況:不良

事由:播種期は平年より2日早い5月21日であった。播種後は降水量が多く、気温も平年並に推移したため、出芽期も平年に比べて2日早い6月9日であった。その後は低温・寡照に推移したため、着莢で約2割、一莢内粒数で1割強それぞれ平年を下回り、成熟期も平年に比べて8日遅くなった。登熟期間が長くなったため百粒重は平年を約5%上回り、品質も1等と良好であったが子実重は217kg/10aで平年比88%であった。

以上により、平成5年度の作況は不良である。

品種名 項目/年次		改良早生大福		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.21	5.23	△2
出芽期(月.日)		6.9	6.11	△2
開花期(月.日)		7.11	7.12	△1
成熟期(月.日)		9.11	9.3	8
主茎長 (cm)	6月20日	13.5	15.8	△2.3
	7月20日	180	226	△46
	8月20日	273	280	△7
	成熟期	291	275	16
主茎節数 (節)	7月20日	14.4	17.0	△2.6
	8月20日	21.8	21.1	0.7
	成熟期	22.1	21.4	0.7
分枝数 (本/株)	7月20日	2.2	3.8	△1.6
	8月20日	3.0	3.3	△0.3
	成熟期	2.8	2.9	△0.1
着莢数 (莢/株)	8月20日	29.1	33.9	△4.8
	成熟期	29.2	36.2	△7.0
一莢内粒数(粒)		3.76	4.29	△0.53
子実重(kg/10a)		217	246	△29
百粒重(g)		68.3	65.1	3.2
層粒率(%)		1.3	4.9	△3.6
品質(等級)		1	2	—
子実重平年対比(%)		88	100	△12

注)平年値は前7か年中、昭和61年、平成4年を除く5か年平均。

5. ばれいしょ 平成5年度の作況:不良

事由:植付けは平年より2日遅かったが、気温がほぼ平年並に推移し、また、例年より浅植えであったため萌芽はやや早まった。萌芽後は日照不足によりやや軟弱な生育をたどったが、6月下旬からの低温、少照、干ばつにより生育は抑制された。開花期は平年よりやや遅かった。その後も雨量が少なかつたため枯凋は著しく早まった。生育全般を通じて低温・寡照であったため、塊茎の肥大は劣り、上いも重は平年の74～80%と著しく低収であったが、でん粉価は昭和41年以降の最高値を示した。以上により、平成5年度の作況は不良である。

品種名 項目/年次	男爵薯			農林1号		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期(月.日)	5.9	5.7	2	5.9	5.7	2
萌芽期(月.日)	5.3	5.31	△1	5.29	5.3	△1
開花期(月.日)	7.3	6.3	3	7.2	6.3	2
枯凋期(月.日)	8.14	8.28	△14	9.3	9.2	△17
茎長 (cm)	6月20日	28	27	31	28	3
	7月20日	39	43	47	59	△12
	8月20日	—	45	47	68	△19
茎数 (本/株)	6月20日	5.7	4.6	5.2	5.2	0
	7月20日	4.6	4.7	△0.1	4.3	△1.1
	8月20日	—	4.6	—	4.3	△0.9
上いも重(kg/10a)	2,740	3,426	△686	3,418	4,611	△1,193
でん粉価(%)	16.0	14.0	2.0	18.4	15.1	3.3
上いも重平年対比(%)	80	100	△20	74	100	△26
でん粉価平年対比(%)	114	100	14	122	100	22

注)平年値は前7か年中、平成元年、4年を除く5か年平均。「上いも」は20g以上の塊茎である。

6. てんさい 平成5年度の作況:やや良

事由:播種は平年より2日遅れの4月5日に行った。発芽はおおむね順調で、4月12～14日にかけて発芽期に達した。移植は5月上旬の多雨により、平年の6日遅れの5月14日に行った。移植後の活着および初期生育はおおむね順調であった。しかし、移植が遅れたため、その後の草丈、葉数などの推移は平年並より少なめであった。また、7月上旬頃の寡雨により、葉色の黄化や生育の停滞など干ばつの様相も一時観察された。そのため、8月中旬頃までは地上部の生育はやや小さかった。しかし、8月下旬以降気温は平年並～高く、降水量は少なく、日照時間もほぼ平年並に推移したため、地上部の生育は回復し、根部の肥大も良好であった。10aあたり根重は8.08tで平年比100%で平年並であったが、根中糖分は17.54%で平年比104%で平年をやや上回り、糖量は1,417kg/10aで、平年比104%で平年をやや上回った。以上により、平成5年度の作況はやや良である。

品種名(栽培法) 項目/年次	モノヒカリ(移植)			
	本年	平年	比較	
播種期(月.日)	4.5	4.3	2	
移植期(月.日)	5.14	5.8	6	
収穫期(月.日)	10.13	10.15	△2	
草丈 (cm)	5月20日	4.3	5.1	△0.8
	6月20日	23.2	31.4	△8.2
	7月20日	42.4	52.4	△10.0
	8月20日	51.4	58.3	△6.9
	9月20日	55.5	58.0	△2.5
	収穫期	59.0	57.1	1.9
葉数 (枚)	5月20日	2.5	3.0	△0.5
	6月20日	9.2	10.8	△0.6
	7月20日	17.9	20.5	△2.6
	8月20日	23.4	26.0	△2.6
	9月20日	28.6	29.0	△0.4
	収穫期	30.7	27.9	2.8
根周 (cm)	7月20日	18.9	23.4	△4.5
	8月20日	28.3	32.7	△4.4
	9月20日	33.9	37.0	△3.1
	収穫期	36.0	39.0	△3.0
茎葉重(t/10a)	4.54	4.97	△0.43	
根重(t/10a)	8.08	8.07	0.01	
根中糖分(%)	17.54	16.81	0.73	
糖量(t/10a)	1,417	1,356	61	
根重平年対比(%)	100	100	0	
根中糖分平年対比(%)	104	100	4	
糖量平年対比(%)	104	100	4	

注)平年値は前7か年中、昭和62年、平成3年を除く5か年平均。